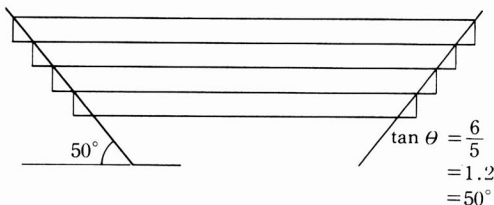


(型紙)

角度の目安

カーブを伴う場合は、それぞれのカーブの変化によるが一応の目安は次の通りである。

- 6ミリ厚ベニヤ合板を使用して5ミリずつ広げて積みあげた場合、角度50度。



- 6ミリ厚ベニヤ合板を使用して2.5ミリずつ広げて積みあげた場合。 角度67度 (~68度)

$$\tan\theta = \frac{6}{2.5}, \frac{6}{2.5} = 2.4, 2.4 = 67^\circ (\sim 68^\circ)$$

- 12ミリ厚ベニヤ合板を使用して5ミリずつ広げて積みあげた場合。 角度67度 (~68度)

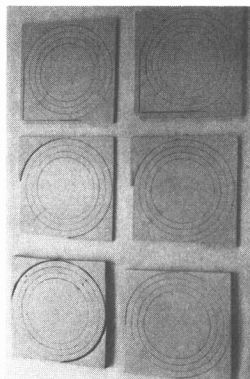
$$\tan\theta = \frac{12}{5}, \frac{12}{5} = 2.4, 2.4 = 67^\circ (\sim 68^\circ)$$

- 12ミリ厚ベニヤ合板を使用して2.5ミリずつ広げて積みあげた場合。 角度78度 (~79度)
- $$\tan\theta = \frac{12}{2.5}, \frac{12}{2.5} = 4.8, 4.8 = 78^\circ (\sim 79^\circ)$$

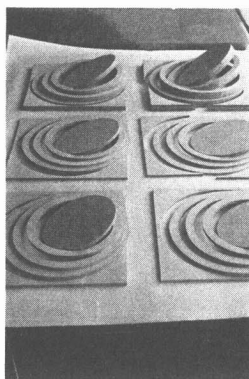
- ベニヤ合板の切り抜き。(3枚)  
型紙でベニヤ合板に形をとり、糸のこで線の通り丁寧に切り抜く。
- 切り抜いたベニヤ合板を接着する。  
セメダインなど使用の場合は、使用法に注意すること。やり直しがきかない場合がある。
- 内形を整える。  
木工ヤスリ、サーフォームなどで中の形のあらく段のついているところを削り、形を整える。  
(注意) 5と8を同時に行わないこと。手順を間違えると製作に困難を伴う場合が出てくる。

- 底板を作る。  
底板を切り抜く。
- 底板を接着する。(3枚の層と底板)  
接着剤がはみ出さないように注意する、塗装仕上げのときむらが出てくる。
- 外形を整える。  
底板と共に木工ヤスリ、サーフォームなどで外形のあらく段のついているところを削り、外形を整え内、外共に紙ヤスリで仕上げる。
- 塗装して全体を仕上げる。  
着色、目止め、下塗り、上塗り、つやだしをして全体を仕上げる。

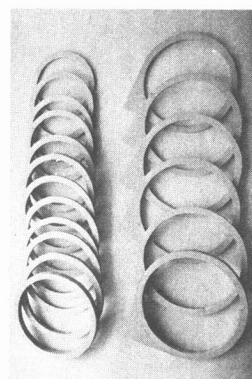
6ミリ厚ベニヤ合板を2.5ミリずつ広げて18枚積みあげた作品例。



ベニヤ合板の無駄のないように型紙により切り抜く。



切り取られた状態。



切り抜いたものを順序に従って並べる。